

# 青郷小だより

令和4年 1月号  
高浜町立青郷小学校



## 何を磨く



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。  
年末年始に真っ白に染められた校舎の雪が解け、冬の装いをまとった子ども達  
達が元気に登校してきました。

「81歳の創業者は なぜトイレを素手で磨くのか」  
この見出しに惹かれ、読み始めた記事に引き込まれました。

イエローハットの創業者 鍵山秀三郎 氏

1961年 株式会社ローヤル（現在のイエローハット）を創業  
「お金を稼げればよい」「自分さえよければよい」「今さえよければよい」  
創業当時 社員の顔つきは みんな厳しく 心は荒れていた

「社員の心を おだやかにするために まず職場環境をきれいにしよう」

鍵山社長が 毎日始めたのは 会社のトイレ掃除と 会社内外の掃除  
それから 約10年間 掃除を手伝う社員は1人もなく  
中には 「あてつけがましい」と 社長を批判する社員まで

しかし 10年を過ぎた頃から 掃除を手伝う社員が少しずつ出始める  
そして 20年を過ぎた頃には ほとんどの社員と一緒に掃除を

人数が増えたので 掃除の範囲は 会社の外へ広がる  
近隣の道路や公共施設まで ローヤルの社員が掃除をするようになった  
この頃には 社員は みんな笑顔になり 性格はおだやかになっていた

すると ローヤルに来るお客さんが増えた  
商品を納める時には 商品の数と伝票の数が合っているか  
お客さんが確かめるのが 当たり前  
ところが ローヤルが納品をする時は お客さんが一切確認をしない  
「ローヤルの社員が ごまかすはずがない」 気づいたら大きな信頼が

鍵山氏 「掃除の効用は 5つある」  
1つ目 「謙虚な人になれる」 2つ目 「気づく人になれる」  
3つ目 「感動の心を育む」 4つ目 「感謝の心が芽生える」  
5つ目 「心を磨く」

「その場を使う人の幸せを祈る想いが  
そこを使う人達の心まできれいにする」

先日、手洗い場の足下に敷いてあるマットタオルの乱れを、1人で丁寧に直している女の子を見かけました。その時に別の子が手を洗いに来て、急いで教室に戻ったので、せっかく整えたマットが乱れてしまいました。するとその女の子は、何も言わずに、また丁寧にマットを整え直してから、教室に戻りました。

離れたところから、その様子を黙って見ていましたが、心が洗われるような、清々しい気持ちになりました。その女の子に感心しながら、気づいていないゴミや、見て見ぬふりをしている汚れがないか気をつけながら、校舎を回りました。

# 青郷グランプリ

## ～ わがクラスNo.1 宣言～

- ◇ 目標に向けて取り組むことで、学級への所属意識と仲間意識を高める。
- ◇ 自分達で目標を決めて取り組むことで、やらされるのではなく、自分達でやろうという、主体的な姿勢を育む。
- ◇ 取組を他学年や外部にPRすることで、自己有用感を高める。

上記のようなねらいを持って、児童委員会が中心となり「青郷グランプリ」を提案し、活動が始まりました。

子ども達が話し合っ、各学年の目標を決め、担任はアドバイザーとしてそれを支援しました。また、目標に向かってどのような活動をするのかということも全て子ども達が決めました。

それぞれの学年が、今後、どのような活動をするか楽しみにしながら、見守っていきたいと思います。

### 1年宣言



## みんな元気 No.1

### 2年宣言



## にこにこ笑顔 No.1

### 3年宣言



## 声かけ No.1

### 4年宣言



## 仲良し No.1

### 5年宣言



## 団結力 No.1

### 6年宣言



## 楽しさ No.1

※ 子ども達の学校生活の様子をブログでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



< <http://seikyo.takahama-town.com/> >

学校ブログ <QRコード>